

7月26日(日) 礼拝メッセージ 「すべてが報われる日」

1 ぶどう畑 1人ひとりに与えられている任務

(雅歌 8:11) 王はバアル・ハモンにぶどう畑を所有していた。王はぶどう畑を守る者に任せていた。おのおのその収穫の実に応じて、銀千枚を納めることになっていた。

(黙示録 7:9, 14) あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、誰にも数え切れぬほどの大勢の群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手にもって、御座と小羊との前に立っていた。彼らは大声で叫んで言った。「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある」 彼らは、大きな苦難を通り抜けた人たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。

2 最高の日々はこれからやってくる

(2コリント 5:8~10) 私たちはいつも心強いです。そしてむしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。そういうわけで、肉体の中にあろうと、肉体を離れていようと、私たちの願いは、主に喜ばれることです。なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行いに応じて報いを受けることになるからです。

(マタイ 10:42) わたしの弟子だというので、この小さい者たちのひとりに、水1杯でも飲ませるなら、真実を言います。その人は、決して報いを受けないことはありません。

3 正しい神観 神さまはどのような方ですか？

(マタイ 25:24) ところが、1タラント預かっていた者も来て、言った。『ご主人様。あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めるひどい方だとわかっていました。私はこわくなり。出て行って、あなたの1タラントを地の中に隠しておきました。』

(ヨハネ 14:1~2) あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

(ルカ 19:17) 主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。あなたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』

(マタイ 25:21) 主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』

4 イエスのまなざし

(黙示録 2:18) 燃える炎のような目をもち、その足は光輝くしんちゅうのような、神の子が言われる。

(1コリント 3:8~15) 私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。…

誰もすでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできません。その土台とはイエスキリストです。

もし、誰かがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、各人の働きは明瞭になります。その日それがそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現われ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。もしだれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。